



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日
上場取引所 東

上場会社名 東邦アセチレン株式会社
 コード番号 4093 URL <http://www.toho-ace.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 悦哉
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長 (氏名) 小峰 雅 (TEL) 022-385-7692
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	15,690	13.3	579	72.8	672	76.8	369	69.6
2022年3月期第2四半期	13,844	—	335	—	380	—	217	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 384百万円(95.4%) 2022年3月期第2四半期 196百万円(—%)
 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	53.26	—
2022年3月期第2四半期	31.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	30,156	17,739	53.0
2022年3月期	30,271	17,561	52.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,978百万円 2022年3月期 15,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2023年3月期	—	20.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.3	1,400	14.0	1,500	10.7	900	9.3	129.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 ()、 除外 一社 ()

(2) 四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の : 有
会計処理の適用

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	7,004,000株	2022年3月期	7,004,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	56,930株	2022年3月期	64,119株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	6,941,937株	2022年3月期2Q	6,935,755株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と政府の各種政策により経済活動は正常化の動きが見られました。一方で、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料・エネルギー価格は引き続き高い水準にあり、加えて円安の進行で経済活動への影響が懸念されるなど、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の売上高は156億90百万円と前年同四半期に比べ18億46百万円(13.3%)の増加となり、営業利益は5億79百万円と前年同四半期に比べ2億44百万円(72.8%)の増加、経常利益は6億72百万円と前年同四半期に比べ2億92百万円(76.8%)の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億69百万円と前年同四半期に比べ1億51百万円(69.6%)の増加となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

ガス関連事業

ガス関連事業の売上高は、98億27百万円と前年同四半期に比べ14億27百万円(17.0%)増加、営業利益は8億6百万円と前年同四半期に比べ2億41百万円(42.9%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、酸素は電炉・鉄鋼向けの需要が減少しましたが、一方で、溶解アセチレンは圧接向けの需要は低調も価格改定により増加、窒素は他社工場の定期修理に伴う稼働停止で出荷量が増加、アルゴンは発電所工事向けに、水素は石英加工向けに、食品用ガスは行動制限の緩和を受け外食産業向けに需要が増加、液化石油ガス及び石油類は輸入価格の上昇の影響を受け、売上高は増加しました。

利益面におきましては、電気料金の上昇に伴う全体的な製造コストの増加に加え、水素は調達コストが増加しましたが、食品用ガスの出荷量が大幅に増加したこと、各種高圧ガスの値上げの実施及び前年に実施した多賀城工場の大規模定期修理がなかったこと等により、営業利益は増加となりました。

器具器材関連事業

器具器材関連事業の売上高は、47億6百万円と前年同四半期に比べ6億57百万円(16.2%)増加、営業利益は1億66百万円と前年同四半期に比べ77百万円(87.9%)の増加となりました。

当部門の状況といたしましては、溶接材料は販売価格を改定したことに加え、溶接切断器具は消耗品及び大型工作機械の需要が増加したこと等により売上高は増加しました。営業利益は、売上総利益の増加に伴い増加となりました。

自動車機器関連事業

自動車機器関連事業の売上高は、5億86百万円と前年同四半期に比べ1億32百万円(29.3%)増加、営業損益は前年同四半期に比べ19百万円増加し、19百万円の営業利益(前年同四半期は0百万円の営業損失)となりました。

当部門の状況といたしましては、自動車部品メーカーの設備投資需要は増加し、利益率の改善により営業利益を確保しました。

製氷機関連事業

製氷機関連事業の売上高は、4億4百万円と前年同四半期に比べ3億95百万円(49.4%)減少、営業利益は41百万円と前年同四半期に比べ6百万円(14.2%)の減少となりました。

当部門の状況といたしましては、製氷・冷凍機械の大型物件に対する仕掛の減少により売上高及び売上総利益は減少しましたが、販売費及び一般管理費は前期に発生した保証工事等が減少したこともあり、営業利益の減少幅が縮小しました。

その他

その他の事業部門の売上高は、1億65百万円と前年同四半期に比べ24百万円(17.0%)増加、営業利益は25百万円と前年同四半期に比べ7百万円(42.5%)増加となりました。

当部門の状況といたしましては、医療機器の需要が増加したことにより、売上高及び営業利益は増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、301億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少となりました。この主な要因は、棚卸資産購入により増加(50百万円)しましたが、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギー需要期の売上債権を回収したことで売上債権等が減少(2億19百万円)したことによるものであります。

負債は、124億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億93百万円減少となりました。この主な要因は、ガス関連事業における液化石油ガス及び石油類のエネルギーの需要が減少したこと等により仕入債務が減少(19百万円)したことに加え、役員退職慰労引当金が減少(61百万円)したことによるものであります。

純資産は、177億39百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円増加となりました。この主な要因は、配当金の支払いによる減少(2億8百万円)がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上(3億69百万円)したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、83億47百万円となり、前連結会計年度末より17百万円(0.2%)の増加となりました。

営業活動で得られた資金は5億88百万円、投資活動で使用した資金は2億50百万円、財務活動で使用した資金は3億20百万円となり、現金及び現金同等物は増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

売上増加に伴う売上債権等の回収額が減少したこと及び法人税等の支払額が増加したこと等により、前年同四半期に比べ6億26百万円(51.6%)減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入が減少した一方で、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等により、前年同四半期に比べ9百万円(3.5%)支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いは増加しましたが、長期借入金の返済による支出が減少したこと等により、前年同四半期に比べ25百万円(7.4%)支出が減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,329,442	8,347,210
受取手形、売掛金及び契約資産	6,409,028	5,955,585
電子記録債権	1,858,999	2,093,337
商品及び製品	1,024,008	1,074,044
仕掛品	8,697	20,475
原材料及び貯蔵品	123,703	126,509
その他	241,617	313,641
貸倒引当金	△17,070	△17,372
流動資産合計	17,978,428	17,913,430
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,394,318	3,422,027
機械装置及び運搬具（純額）	767,324	728,093
土地	5,572,578	5,620,455
その他（純額）	333,473	304,360
有形固定資産合計	10,067,695	10,074,937
無形固定資産	195,055	175,274
投資その他の資産		
投資有価証券	1,097,898	1,070,469
その他	965,134	954,836
貸倒引当金	△32,580	△32,908
投資その他の資産合計	2,030,453	1,992,397
固定資産合計	12,293,204	12,242,609
資産合計	30,271,632	30,156,040
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,908,297	4,457,952
電子記録債務	675,587	1,106,817
短期借入金	3,230,000	3,230,000
1年内返済予定の長期借入金	121,792	93,792
未払法人税等	311,374	288,055
賞与引当金	382,304	385,539
役員賞与引当金	18,994	—
その他	956,950	854,738
流動負債合計	10,605,299	10,416,894
固定負債		
長期借入金	56,968	24,072
役員退職慰労引当金	419,617	358,597
退職給付に係る負債	1,359,147	1,363,374
資産除去債務	5,976	31,443
その他	263,080	222,608
固定負債合計	2,104,790	2,000,095
負債合計	12,710,090	12,416,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,261,000	2,261,000
資本剰余金	1,122,978	1,120,578
利益剰余金	12,524,008	12,685,259
自己株式	△83,413	△73,070
株主資本合計	15,824,573	15,993,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,011	△14,823
その他の包括利益累計額合計	1,011	△14,823
非支配株主持分	1,735,956	1,760,105
純資産合計	17,561,541	17,739,049
負債純資産合計	30,271,632	30,156,040

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	13,844,246	15,690,704
売上原価	9,381,800	10,898,493
売上総利益	4,462,445	4,792,211
販売費及び一般管理費	4,126,930	4,212,538
営業利益	335,514	579,672
営業外収益		
受取利息	140	295
受取配当金	7,218	6,954
受取賃貸料	42,742	63,832
持分法による投資利益	—	556
その他	41,431	66,394
営業外収益合計	91,533	138,033
営業外費用		
支払利息	15,781	15,662
賃貸費用	14,267	26,941
持分法による投資損失	11,855	—
その他	4,786	2,692
営業外費用合計	46,691	45,296
経常利益	380,356	672,410
特別利益		
固定資産売却益	22,336	6,941
投資有価証券売却益	22,025	—
特別利益合計	44,361	6,941
特別損失		
固定資産除売却損	3,773	1,589
減損損失	8,341	893
補助金返還損	—	367
特別損失合計	12,114	2,850
税金等調整前四半期純利益	412,603	676,501
法人税等	183,557	272,756
四半期純利益	229,045	403,744
非支配株主に帰属する四半期純利益	11,058	34,029
親会社株主に帰属する四半期純利益	217,986	369,715

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	229,045	403,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,226	△18,809
持分法適用会社に対する持分相当額	1,082	△176
その他の包括利益合計	△32,143	△18,986
四半期包括利益	196,901	384,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,455	353,879
非支配株主に係る四半期包括利益	3,446	30,878

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	412,603	676,501
減価償却費	301,885	313,095
減損損失	8,341	893
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,465	630
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,480	3,235
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△18,640	△18,994
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,851	△61,020
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△30	4,226
受取利息及び受取配当金	△7,359	△7,250
支払利息	15,781	15,662
持分法による投資損益 (△は益)	11,855	△556
投資有価証券売却損益 (△は益)	△22,025	—
固定資産売却益	△22,336	△6,941
固定資産除売却損	3,773	1,589
助成金収入	—	△11,880
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	742,605	219,104
棚卸資産の増減額 (△は増加)	706,641	△64,617
仕入債務の増減額 (△は減少)	△373,360	△19,115
その他	△331,207	△153,217
小計	1,457,395	891,346
利息及び配当金の受取額	9,423	9,314
利息の支払額	△15,696	△15,653
助成金の受取額	—	11,880
法人税等の支払額	△236,667	△308,840
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,214,454	588,045

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△339,834	△271,008
有形固定資産の売却による収入	27,475	7,296
無形固定資産の取得による支出	△4,531	△14,162
投資有価証券の取得による支出	△2,714	△2,735
投資有価証券の売却による収入	52,941	—
貸付けによる支出	△1,000	△6,000
貸付金の回収による収入	8,667	9,472
その他	△236	26,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,231	△250,203
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	208,000	130,000
短期借入金の返済による支出	△208,000	△130,000
長期借入金の返済による支出	△121,556	△60,896
リース債務の返済による支出	△43,175	△43,548
自己株式の取得による支出	△122	△12
配当金の支払額	△173,999	△208,168
非支配株主への配当金の支払額	△6,749	△7,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△345,602	△320,074
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	609,620	17,767
現金及び現金同等物の期首残高	7,862,804	8,329,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,472,424	8,347,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	8,400,200	4,048,925	453,820	80,354	12,983,300	99,977	13,083,277	—	13,083,277
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	719,238	719,238	41,730	760,968	—	760,968
顧客との契約から生じる収益	8,400,200	4,048,925	453,820	799,593	13,702,538	141,707	13,844,246	—	13,844,246
外部顧客への売上高	8,400,200	4,048,925	453,820	799,593	13,702,538	141,707	13,844,246	—	13,844,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,400,200	4,048,925	453,820	799,593	13,702,538	141,707	13,844,246	—	13,844,246
セグメント利益又は損失(△)	564,061	88,673	△440	48,840	701,135	18,099	719,235	△383,720	335,514

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△383,720千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス関連 事業	器具器材 関連事業	自動車 機器関連 事業	製氷機 関連事業	計				
売上高									
一時点で移転される財	9,827,626	4,706,104	586,611	170,529	15,290,871	119,565	15,410,437	—	15,410,437
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	234,051	234,051	46,215	280,266	—	280,266
顧客との契約から生じる収益	9,827,626	4,706,104	586,611	404,581	15,524,923	165,780	15,690,704	—	15,690,704
外部顧客への売上高	9,827,626	4,706,104	586,611	404,581	15,524,923	165,780	15,690,704	—	15,690,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	9,827,626	4,706,104	586,611	404,581	15,524,923	165,780	15,690,704	—	15,690,704
セグメント利益	806,056	166,636	19,195	41,894	1,033,783	25,800	1,059,584	△479,911	579,672

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療機器等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△479,911千円は、すべて全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。